

## 評価結果概要表

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870102195
法人名	特定非営利活動法人グループホームしいのみ
事業所名	グループホームしいのみ
所在地	松山市緑町1丁目7番地15
自己評価作成日	平成23年6月30日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的な散歩(1日数回)</li> <li>・外に向けた活動(運動会、季節のお祭り、ドライブ、そうめん流し等)</li> <li>・主治医による毎日の往診(毎日の利用者様の健康状態の把握)</li> <li>・動物との触れ合い(犬、猫等)</li> <li>・スタッフの団結力(デザインをスタッフが考え、揃いのユニフォームの作成、また不定期ではあるが飲みニケーションによるストレスの発散。)</li> <li>・ブログの発信</li> </ul>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

<p>メニューは、その日の調理担当職員が冷蔵庫にある材料をみながら「何が食べたいか」利用者や相談して、決めておられ、調理の苦手な職員や若い職員が食事を担当する際には利用者が「手伝うよ。」と声をかけてくださるようだ。食後には、ご自分のお皿だけでなく、他の利用者のお皿も流し台まで下げてくださる利用者の様子もみられた。</p> <p>毎月の事業所からの書類とともに、利用者ご本人の写真や状態報告のお手紙を同封しておられ、直接言にくいことがあれば用紙に記入してもらえよう、用紙を同封されている。ブログにお孫さん等との写真をアップしてご家族にたいへん喜ばれる等、ご家族からは感謝の言葉をいただくことが多いようだ。</p> <p>運営推進会議時、「地区の民生委員の方の参加をいただきたい」と、市の担当者に相談された際には、市の担当の方が民生委員の会に出向いて、運営推進会議の参加意義を説明していただき、会議参加を促す声かけをしてくださった。</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成23年9月26日

### ・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目: 23,24,25)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ほぼ全ての利用者の</li> <li>2. <b>利用者の2/3くらい</b></li> <li>3. 利用者の1/3くらい</li> <li>4. ほとんど掴んでいない</li> </ol>	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目: 9,10,19)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ほぼ全ての家族と</li> <li>2. <b>家族の2/3くらい</b></li> <li>3. 家族の1/3くらい</li> <li>4. ほとんどできていない</li> </ol>
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目: 18,38)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. <b>毎日ある</b></li> <li>2. 数日に1回程度ある</li> <li>3. たまにある</li> <li>4. ほとんどない</li> </ol>	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目: 2,20)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ほぼ毎日のように</li> <li>2. <b>数日に1回程度</b></li> <li>3. たまに</li> <li>4. ほとんどない</li> </ol>
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目: 38)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. <b>ほぼ全ての利用者が</b></li> <li>2. 利用者の2/3くらいが</li> <li>3. 利用者の1/3くらいが</li> <li>4. ほとんどいない</li> </ol>	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目: 4)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. <b>大いに増えている</b></li> <li>2. 少しずつ増えている</li> <li>3. あまり増えていない</li> <li>4. 全くいない</li> </ol>
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目: 36,37)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. <b>ほぼ全ての利用者が</b></li> <li>2. 利用者の2/3くらいが</li> <li>3. 利用者の1/3くらいが</li> <li>4. ほとんどいない</li> </ol>	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目: 11,12)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. <b>ほぼ全ての職員が</b></li> <li>2. 職員の2/3くらいが</li> <li>3. 職員の1/3くらいが</li> <li>4. ほとんどいない</li> </ol>
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目: 49)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ほぼ全ての利用者が</li> <li>2. <b>利用者の2/3くらいが</b></li> <li>3. 利用者の1/3くらいが</li> <li>4. ほとんどいない</li> </ol>	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ほぼ全ての利用者が</li> <li>2. <b>利用者の2/3くらいが</b></li> <li>3. 利用者の1/3くらいが</li> <li>4. ほとんどいない</li> </ol>
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (参考項目: 30,31)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ほぼ全ての利用者が</li> <li>2. <b>利用者の2/3くらいが</b></li> <li>3. 利用者の1/3くらいが</li> <li>4. ほとんどいない</li> </ol>	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ほぼ全ての家族等が</li> <li>2. <b>家族等の2/3くらいが</b></li> <li>3. 家族等の1/3くらいが</li> <li>4. ほとんどできていない</li> </ol>
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目: 28)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ほぼ全ての利用者が</li> <li>2. <b>利用者の2/3くらいが</b></li> <li>3. 利用者の1/3くらいが</li> <li>4. ほとんどいない</li> </ol>			

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホームしいのみ

(ユニット名) \_\_\_\_\_

記入者(管理者)

氏名

村上 光栄

評価完了日

23 年 6 月 24 日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>理念に基づく運営</b>				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) ホームに理念である「ゴソゴソの自由」を管理者、職員共に理解を深めチームケアに取り組んでいる。 (外部評価) 事業所は、取り組みの方向性をすべての職員で共有するために理念を大切に考えておられ、管理者は職員からケアで困っていること等の相談があった場合にも、理念を振り返って考えられるよう話しておられる。事業所は、ブログを始めておられ、事業所の活動や研修の内容をアップして、ホームのことや取り組みを広く発信しておられる。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 出来る限り朝、表三軒両隣をはきそうじしている。日頃積極的に挨拶を行ったり、お祭り、運動会に参加したり等地域の方々と親交を深めている。また定期的に運営推進会議を催したりしている。 (外部評価) 事業所は、民家改修型のグループホームで、隣家とも軒を並べて建てており、近所の方とあいさつを交わしたり、声をかけ合ったりすることで、自然なおつきあいをされている。地区の運動会に参加された際には、利用者もパン食い競争に出場したり、地区の盆踊り大会では、地域の方達と一緒に踊り楽しまれた。秋祭りには、事業所の前が子ども神輿の休憩所となり、利用者は、子ども達にお菓子や飲み物を配る等して交流された。松山大学から学生ボランティアが来てくれることもある。さらに、学生はバリアフリーの勉強のため、利用者と一緒に学内を歩いたり、学生から提案で一緒に学食で食事をされたこともある。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 不定期ではあるがホ - ム近くの公民館を貸し切り、地域の方々をお招きし交流会や勉強会等を行い、認知症への理解を深めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 評価への取り組み状況等について報告や話し 合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活 かしている</p>	<p>(自己評価) 近隣の方々や市の担当者、包括の方等をご招待 し、ホームに関して様々な意見を交換している。 何度もお誘いしているが民生委員は不参加。市 職員・近隣住民には説明済み。</p> <p>(外部評価) 会議には、地域住民、町内会長・系列グループホームの職 員等が参加されている。会議では、事業所から行事や研修 会等の報告を行っておられる。又、ヒヤリハット事例を報告し てメンバーの意見を聞くような取り組みもされており、「他職 種の方と意見交換して検討してはどうか」との意見が出され、 それをきっかけに事業所では、系列グループホームと合同 でヒヤリハットの検討・報告会を実施されている。地域住民の 方からは「階段に滑り止めを付けたらよいのでは。」との意見 をいただき、採り入れておられたり、「地域行事の際、職員が 分かりやすいよう、揃いのユニフォームを着てはどうか。」との 提案もあり、地域に出かける際には職員はユフォームを着用 するようになった。</p>	<p>会議には、ご家族にも参加いただけるよう働きかけておられ るが、現在は、ご家族の参加には結びついていないようだ。 事業所では「会議で話し合った内容を具体的に分かりやすく まとめて、ご家族に送付して意見をうかがえるよう工夫した い」と考えておられる。さらに職員も「いろいろな人に参加し ていただき、会議の内容も充実していきたい」と話しておられ た。いろいろな立場の方の参加を働きかけられたり、利用す る側である利用者やご家族の声も採り入れながら会議をす ずめていけるよう、今後も工夫を重ねて行かれてほしい。</p>
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業 所の実情やケアサービスの取組みを積極的に 伝えながら、協力関係を築くように取り組んでい る</p>	<p>(自己評価) 市町村からの助言やアドバイスを参考にしサービ スの取組みを行っている。市の担当者も親切に 対応して頂いている。</p> <p>(外部評価) 運営推進会議時、「地区の民生委員の方の参加をいただき たい」と、市の担当者に相談された際には、市の担当の方が 民生委員の会に出向いて、運営推進会議の参加意義を説 明していただき、会議参加を促す声かけをしていただいた。</p>	<p>市町村からの助言やアドバイスを参考にしサービ スの取組みを行っている。市の担当者も親切に 対応して頂いている。</p>
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における 禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解し ており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしない ケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) ホームでは適時、身体拘束に関する勉強会を実 施しており一人一人の職員に身体拘束をしない ホーム作りについて理解を深めている。</p> <p>(外部評価) 事業所は、玄関の施錠はしておらず、自由に出入りできるよ うにされている。外に出かけようとする利用者には、ご本人の 自由を尊重して職員が見守りながら対応されている。職員 は、利用者に対して「ちょっと待ってください。」と、行動を止 めるような言葉かけをしないように日頃から心がけ、かかわ っておられる。</p>	<p>ホームでは適時、身体拘束に関する勉強会を実 施しており一人一人の職員に身体拘束をしない ホーム作りについて理解を深めている。</p>

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 勉強会において高齢者虐待について話し合いを行い、虐待防止について理解を深め、発生防止に努めている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 職員は勉強会や講習会において有識者の方より新しい制度について知識を深め制度に対応できるよう取り組んでいる。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 利用者様や家族様の方に対し、十分な説明と同意は重要である。日頃よりコミュニケーションを深め、状況が変化した場合には書面や電話連絡等で周知している。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者様や家族様より、ご意見、ご要望があった場合は、真摯に対応できるように努めている。また、ホーム自ら連絡を行い何か要望がないか伺ったりしている。さらに市町村等外部からの意見や助言をもらいながら対応している。 (外部評価) 管理者や職員は、ご家族の来訪時に日頃の様子を報告して意見や要望を聞き取っておられる。又、毎月の事業所からの書類とともに、利用者ご本人の写真や状態報告のお手紙を同封しておられ、直接言いにくいことがあれば用紙に記入してもらえよう、用紙を同封されている。ブログに、お孫さん等との写真をアップして、ご家族にたいへん喜ばれる等、ご家族からは感謝の言葉をいただくことが多いようだ。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			月例ミーティングにおいて職員からの提案、要望があった場合には十分に話し合いを行ったうえで反映できるよう取り組んでいる。	
			(外部評価)	
			職員から「外部研修に参加する機会を増やしてほしい」との要望があり、毎月、外部研修の参加の希望を聞き、勤務等を調整して参加できるよう取り組まれている。参加した職員は、内部研修会や運営推進会議、ブログ等で研修内容を報告されている。「事業所内の臭いが気になる」と職員が気付かれ、換気をこまめにに行い、玄関には芳香剤を置くようにされていた。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			就業規則に基づき、管理者が毎月、職員の評価を行いスタッフが向上心を持って働けるよう努めている。	
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			NPOが行っている勉強会や社協、研修センターからの講習会に積極的に参加し、学んだことをミーティング等において発表し知識を深めていく。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)	
			愛媛県ケアプラン研究会や他事業所の行事(祭りや演奏会など)に参加し、同業者とコミュニケーションを深め、お互いに情報を交換、共有を図りサービスの質の向上に努めている。	
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			利用者様からの話を十分に傾聴し、何が困っているのか、何を必要としているのかを職員が理解できるよう努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご家族様の話の中にケアプランのヒントが大いにあるので積極的にお話を聞くようにしている。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時、まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>過去の生活歴の把握に努め、初めての方は特に慎重に笑顔で気持ちよく過ごせる様に心を砕いている。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>出来ること、出来ないことの見極めた上で、出来ることは積極的に声かけしてなるべく一緒に物事を進める様にしている。</p>	
19		<p>本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご家族様が来てくれる事はとても嬉しいので次も来てくれるようにまた遠慮しないように積極的に挨拶をしている。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>近所の公園はよく行くので顔見知りの方が気軽に声かけて頂いている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>利用者からの希望で、毎年、お墓参りや以前住んでいた家の周辺に出かけてみるような取り組みを続けておられる。以前からよく買い物に利用していた八百屋に行ってみたくと言われる利用者、買い物に出かけたりされている。友人が事業所に会いに来られたり、年賀状のやり取りをされる方もサポートされている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価)	利用者の生活スタイルを崩すことの無いよう、利用者同士のコミュニケーションをうまく図れるよう声かけしている。
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価)	必要に応じてその都度対応している。
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)	本人像の絵を描いて職員がより理解しやすいよう努めている。
			(外部評価)	
			日々の介護記録にも、利用者の言葉を記録されており、センター方式のアセスメントの様式を用いて、利用者の思いや意向の把握に努めておられる。他の利用者と思い出話し等される会話の中からも、個々の思いや意向を探っておられる。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)	ご家族や本人様に聞ける範囲での過去の生活や好き嫌いなどヒヤリング。
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価)	台所に立つのが好きな人にはなるべく調理や食器洗いや食器拭き等、一緒にしている。掃除や洗濯物干しも一緒にする様に声かけしている。



自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価) 職員全員で話し合い、計画書を作成し、家族様には作成時に相談、報告、郵送を行い意見を募っている。</p> <p>(外部評価) 介護計画は、毎月のミーティング時にすべての職員でモニタリングを行い、3ヶ月ごとに見直しを行なっておられる。状態に変化が見られる利用者は、随時計画を見直しておられる。ご家族からの要望は、ご家族の来訪時等にお聞きして、計画に採り入れておられる。</p>	<p>事業所では、介護計画内容の用語や表現について、ご家族へ分かりやすく作成して、「ご家族から利用者のケアや暮らしについての要望や意見を引き出していきたい」と考えておられる。ケアのパートナーであるご家族と一緒に利用者を支えていけるよう、ご家族と話し合うような機会も作っていかれてほしい。</p>
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価) 日々の様子はなるべく細かく日誌に記入し血圧、体温、排便などパソコンにも残している。記録は毎日スタッフがチェックし何か変化があれば分かりやすいよう記録をし、職員間で情報を共有し、実践したり、話し合ったりして計画見直しに活かしている。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 本人様、家族様からの要望がある場合、外出や外泊の対応ができ送迎や車椅子の貸出も行っている。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価) 地域との交流を保ち、各行政機関とも協力し合っ て支援している。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価) 通常は毎日、ホームの主治医が往診に来てくれている。利用者様及び家族様の意向を聞き、希望のかかりつけ医があれば対応している。</p> <p>(外部評価) 毎日、事業所の主治医の往診があり、1日1名ずつ診ていただけている。体調不良の利用者があれば、連絡すればいつでも診ていただけるようになっている。入居前から診てもらっている専門医の受診は、ご家族が付き添っておられ、受診日には、職員が約1ヶ月間の様子をお手紙にてご家族に渡しておられる。事業所の主治医を講師に招き「高齢者の救急について」研修会を行ったこともある。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価) 週1回、訪問看護事業所より看護師に来てもらい、バイタルチェックを行っている。この時、職員は日々の利用者様の状態等伝えた上で相談、助言を受けている。</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>(自己評価) 入院時は主治医からの紹介状を書いてもらい、利用者の情報提供を行い入院病院とホームとの連携ができています。</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 看取りの指針作成に基づき、本人様、家族様と話し合い、希望に添えるようにしている。ホームでの終末ケアを希望された場合は医療、職員、地域関係者と共に支援している。</p> <p>(外部評価) これまでも数名の利用者の看取りを経験されており、現在も事業所で最期まで過ごすことを希望されている利用者も複数おられる。事業所では、入居説明時に、事業所でできること、できないことを説明して、看取りの意向の有無の確認を行っておられ、その後、状態の変化に応じて再度、説明や意向の確認をされている。終末期には、ご家族は居室、又は、近くのビジネスホテルに泊まる等して、職員と協力し合って看取られた。職員のストレス等にも配慮して、管理者は職員と面談を行い、不安なこと等について聞き取るような機会を作っておられる。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 不定期ではあるが勉強会を行い、マニュアルも作成している。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 近隣協力員に依頼し、災害時等の避難場所等の確認と協力を話し合っている。  (外部評価) 事業所の建物は、耐震構造の改修工事を施し、台所もオール電化にされ、全室禁煙となっている。事業所独自で毎月避難訓練を行っておられ、回数を重ねるごとに避難するまでの時間が短縮されているようだ。年に2回は、消防の立ち合いのもと、近隣の住民と一緒に避難訓練を実施しておられ、消火器の使い方等も体験された。近隣住民には、外に避難した利用者の見守りを行う「見守り隊」をお願いされている。運営推進会議時、市の担当者の方から「防災マップの見直しや災害時のマニュアルの見直しをしてはどうか。」との意見をいただき、現在、より具体的に分かりやすいマニュアルを作っている途中であった。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 一人ひとりに対応できるよう、職員間の申し送りを行っている。  (外部評価) 職員は、利用者の行動を抑制することなく、安全で自由に生活できるように支援されている。職員は、利用者への言葉かけについても利用者を尊重し、ていねいに話すことに気を付けておられる。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 個々の生活ペースを大切にし、支援できるよう心がけている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、 一人ひとりのペースを大切に、その日をどのよ うに過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 時間が無くて業務を優先してしまうことがあるが、 可能な限り一人ひとりのペースに合わせて支援し ている。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよ うに支援している	(自己評価) 服が汚れていたり、入浴の時等はその人にあった 服を整えている。外出や特別な行事(お誕生会、 お祭りなど)にお化粧品やほかの支援を行ってい る。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好 みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に 準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 一人ひとりの出来ることを大切にして、準備や片 付けをしてもらい、楽しい食事ができる雰囲気作 りを心掛けている。  (外部評価) 調査訪問時、ちらし寿司を作っておられ、利用者はすし飯を うちわで扇いでおられる様子がみられた。野菜を切ったり、 いなり寿司作り等個々の得意なことを活かして食事作りにか かわれるよう支援されている。食事の際、職員は「今日の煮 物の味や固さはどうですか？」と利用者にかがいがいながら、食 事を一緒にされており、利用者は「おいしいよ。」「ゴボウは、 固くて噛めれんわね。」と感想を話しておられ、職員は、味や 食べやすさ等、利用者の意見を聞きながら調理に工夫をさ されている。メニューは、その日の調理担当職員が冷蔵庫にあ る材料をみながら「何が食べたいか」利用者と相談して、決 めておられ、調理の苦手な職員や若い職員が食事を担当す る際には利用者が「手伝うよ。」と声をかけてくださるようだ。 食後には、ご自分のお皿だけでなく、他の利用者のお皿も 流し台まで下げてくださる利用者の様子もみられた。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じ て確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣 に応じた支援をしている	(自己評価) 食事量を記録し、栄養及び水分の摂取量は、概 ね把握できている。場合に応じ主治医、看護師か ら助言をしてもらっている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、 一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔 ケアをしている	(自己評価) 歯磨きは出来る方はご自身でして頂いて、入れ歯 のある方は洗浄の支援を行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	<p>排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている</p>	<p>(自己評価) 紙パンツを使用している方には声かけしたり訴えがある場合、トイレ誘導を行っている。</p> <p>(外部評価) 排泄の記録をとり、個々の排泄パターンの把握努めておられる。夜間は、起きて来られた利用者をトイレに誘うようにされている。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 水分を多めにとったり、散歩、食事等に気を配り、それでも解消されない場合には医師に相談する等対処をしている。</p>	
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>(自己評価) 自立できている方には、自由に入浴して頂いている。見守りが必要な方、介助が必要な方には時間調整を行い職員が介助している。</p> <p>(外部評価) 毎日入浴できるように準備をされている。入浴を嫌がる利用者もあり、タイミングをみながら声かけ等を工夫して、入浴につながるよう支援されている。夏向き・冬向きの入浴剤を使用されたり、利用者の中にはご自分の好みのシャンプーやリンスを使用されている方もいる。浴室に手すりを付け、浴槽内には滑りどめマットを敷き、さらに、現在利用者の状態に合わせて、ご自分の力で浴槽に入れるようバスボードの購入を検討されている。</p>	
46		<p>安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>(自己評価) 特に、消灯時間や起床時間を定めることなく、一人ひとりの希望や状態に合わせた支援を行っている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 症状の変化あれば日誌に状態を書いている。また、必要に応じて管理者にすぐに連絡を入れている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 一人ひとりの生活歴を把握し日々の生活の中で出来ることを見つけ支援している。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 職員が付き添い、散歩やスーパーへの買い物等日常的に行っている。	
			(外部評価) 調査訪問時には、2名の利用者が職員と大洲市にコスモスを見に出かけて行かれ、お昼をすませて帰って来られた。日頃は、近くの薬局やスーパーに歩いて買い物に行かれたり、近くの公園に散歩に出かけておられる。夏は、商店街まで、かき氷を食べに出かけたり、誕生日には外食を楽しまれることもある。ご家族と一緒に外食や買い物に出かける利用者もいる。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 金銭面については管理できる利用者様がないため、所持はしていない。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) ご利用者の希望があれば職員が支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 季節の草花を積極的に居間に活かしている。玄関には入った時にいい香りがする様にラベンダーの芳香剤を置いている。	
			(外部評価) 民家改修型のグループホームで、事業所では家庭的な雰囲気と季節を感じられるような空間作りに工夫をされている。調査訪問時には、居間のテーブルに彼岸花が生けられていた。又、地方祭が近いことから、壁には神輿の写真が載っているポスターを貼って、話題にされていた。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 一人で坐れるソファを置いてテレビも見れるようにしている。気の合う人と並んで腰掛けれるようにしている。	
			(外部評価)	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 位牌のある方は仏壇を持ってきているので、時々掃除をしてきれいに整えている。	
			(外部評価) ご自宅から使い慣れたタンスを持って来られている方や仏壇を持ち込んでおられたり、ご主人の写真を飾っておられる方もみられた。ご自分で室内の電気を点けたり、消したりできるようひもを長く伸ばしておられる方もいる。2階に窓のない居室があったが、改装時に天窓を付けられて、自然の光が入るようになっていた。利用者は「部屋が明るくなった。」と喜ばれた。利用者は職員と一緒に部屋の掃除をされ、衣替えの時期にはご家族や職員が衣類の入れ替えをされている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) トイレや風呂場には分かりやすい様に紙を張り、階段には最後の段が分かりやすいように白いテープを張っている。	
			(外部評価)	